

品名	酸素	国連番号	1072
----	----	------	------

該当法規・危険有害性

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高压ガス保安法		火薬類取締法			道 路 法	
種 別						品名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高压ガス	液化石油ガス	火薬	爆薬	火工品	施行令第19条の12、13に該当
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										

特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固 体	液 体	気 体	水溶性	
				常温	加熱時 火災時	水に接触							

事故発生時の応急措置

車を安全な場所に移動する。(アスファルト舗装上、人家、人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)

事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。

付近に火気使用の中止を呼びかけ、木、紙、油等の可燃物を取り除く。

容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。

風上より、消火、漏れ止め、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置を行う。

油がついた工具や手袋は使用しない。

下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等へも連絡する。

緊急通報

119 (消防署) 110 (警察署) 高速道路の非常電話

[緊急通報例]

いつ 時 分頃

どこで 市 地区(国、県、市)道 号線 付近で

なにが 「酸素ガス(高压ガス、支燃性)」が

どうした 漏れています。漏れて火災になっています。

ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします)。ケガ人はいません。

私の名前は 運送会社 です。

緊急連絡

(特に、休日・夜間に確実に連絡がとれる部署の電話番号を記入する)

荷主会社	
住 所	
電 話	平日 昼間 休日 夜間

運送会社	
住 所	
電 話	平日 昼間 休日 夜間

品名	酸素	国連番号	1072
災害拡大防止措置			
特記事項	処理剤		
<p>酸素中で油脂類に着火すると爆発的な燃焼を起こす。ガスの漏えい防止の作業を行うときは、油の付いた工具や手袋は使用しない。また、手や衣服に油脂類が付着していないことを事前に確認する。</p> <p>酸素は支燃性が強く、濃度の高いところでは、わずかな着火源で衣服は急激に燃焼するため、漏えい処置は風上で、かつ、漏えいしているガスの吹き出し方向の反対側から行う。</p> <p>容器内充てん圧力 : 35 で 14.7 MPa (150 kg/cm²) [ゲージ圧力]</p> <p>相対密度(ガス比重) : 1.11 (空気を1とする。空気よりやや重い)</p> <p>色・臭い : 無色・無臭</p> <p>容器の塗色 : 黒色</p>			
<p>漏えいしたとき</p> <p>通風を良くして、ガスが滞留しないようにする。</p> <p>防災工具を用い、風上でかつ漏えいしているガスの吹き出し方向の反対側より、容器バルブ又は漏えいしている部分を静かに増締めし漏れを止める。</p> <p>油がついた工具や手袋は使用しない。また、手や衣服に油脂類が付着していないことを作業前に確認する。</p> <p>漏れが止まらないときは、着火源を避け、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。</p>			
<p>周辺火災のとき</p> <p>酸素の支燃性は強烈で、空気中で燃えないものでも、酸素中で燃えるものが多いので周囲の火気及び可燃物をできるだけ遠ざける。</p> <p>可能であれば、容器を安全な場所へ移動する。</p> <p>移動することが不可能な場合は、破壊防止のために容器及び周囲に散水する。</p>			
<p>救急措置</p> <p>火傷の場合は、きれいな水や氷で患部を冷やす。ショック状態の場合は頭を低くして寝かせ、暖める。</p> <p>25%以上の酸素を吸入すると短時間の場合は問題ないが、人体に悪影響を与えることがある。新鮮な空気のある場所に移動する。</p> <p>痛みや異常がある場合は速やかに医師の手当を受ける。</p>			